

一般社団法人 静岡県労働者福祉協議会

60周年記念誌

「連帯」と「協同」でつくる 安心・共生の福祉社会へ



目 次

あいさつ・祝辞

静岡県労福協 理事長 中西清文	02
中央労福協 会長 芳野友子	03
静岡県副知事 増井浩二	04
各団体からのメッセージ	05-06

労福協の
理念・活動

使命・ポジショニング	07
組織・エリア	08
地域・地区拠点	09-10
活動紹介	11-12
活動トピックス (フードバンクふじのくににつながる仲間ミーティング)	13-14

10年間の歩み

静岡県労福協の歴史	15
2014年度・2015年度	16
2016年度・2017年度	17
2018年度・2019年度	18
2020年度・2021年度	19
2022年度・2023年度	20

資 料

理念・ビジョン	21-22
福祉事業団体の役割について	23-24
たすけあいの森(各団体)	25-26

profile

【肩書き】
労福協のマスコットキャラクター

【お名前】きょうちゃん

【誕生日】11月26日

【属性】イルカ

【性格】仲間とコミュニケーションを
かわし、チームワークが良く、
人と関わることが好き♡

Photo



●ごあいさつ



静岡県労働者福祉協議会
理事長 中西 清文

創立60周年を迎えて

静岡県労働者福祉協議会(静岡県労福協)は本年、創立60周年を迎えます。

今までの労福協運動にご尽力された諸先輩方ならびに仲間の皆さん、そして私たちの活動にご理解とご協力をいただきました関係諸団体の皆さんに心より感謝を申し上げます。

静岡県労福協は、中央における労働者福祉強化の動向を受けて、県評、全労、労金、労済の代表者の間で県労福協を結成しようとする気運の高まりと、静岡県下に28の地区労福協が結成されたことを受けて、1964年11月に結成されました。

以降、「ひとりは万人のために万人はひとりのために」を合言葉に、県下の地域・地区労福協の皆さんと連携を図りながら静岡県における労働者自主福祉運動の中心的役割を果たしてきました。

また、イデオロギーや組織の枠をこえて「福祉はひとつ」の精神の下、労働金庫、こくみん共済coop、生協や連合などの組織・団体、そして行政やNPOの方々とも連携・協力をしながら、多くの方のご理解とご協力をいただいて現在に至っています。

60年といえば還暦であり、会社によっては定年を迎える節目の年にもあたります。諸先輩方が大きな理想と希望をもち、重ねられたご努力によって結成された静岡県労福協の意義をあらためて認識し、これから社会を切り開き、次代に継承していくことが求められています。

日本経済はグローバル化の激しい競争に晒されるとともに長引くデフレによる経済停滞の中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会や経済が大きく変化し、国民生活も一変いたしました。さらには急激な物価高騰も加わり格差や貧困の拡大、孤独や孤立が深刻化し日本社会の脆弱性が浮き彫りとなっています。

また、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され社会経済活動の回復は進み、コロナ禍前の日常生活を取りもどしつつある一方で、いまだに大変厳しい生活環境に置かれている人もいます。

私たちは誰ひとり取り残さない社会のために単に公的セーフティーネットの強化を求めるだけではなく、自らが動き社会全体で助け合い・支え合う、社会的セーフティーネットの構築に向け努力していく必要があります。

静岡県労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向け、これからも「助け合い・支え合い」の心を大切にし、労働者のみならず、静岡県で暮らす全ての人が安心して安全に暮らせる社会、一人ひとりが活き活きと社会の一員として輝ける社会をめざし、その役割と責任を果たしていくなければなりません。

60年間積み上げてきた経験と歴史を大切な財産とし、静岡県における労働者自主福祉運動の推進役として、皆さんのが支援・ご協力をいただきながら、これからも共助の輪を広げ続けていきたいと思います。

皆様方の変わらぬご理解とさらなるご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

静岡県労働者福祉協議会の 創立60周年に寄せて



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

このたび、一般社団法人静岡県労働者福祉協議会が創立60周年の節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃の中央労福協への多大なるご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。

貴協議会は「労働者の福祉要求の実現を通じて、労働者家族の生活向上と安定をはかり、真に平和で豊かな暮らしを保障する社会を創る。」を基本理念に、労働組合と福祉事業団体の連携のもと、労働者自主福祉運動を進めてこられました。

これまで労福協運動のバトンをつないでこられた歴代の役職員をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に心から敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになりました。感染症法上の位置付けが5類に移行され社会経済活動の回復は進みつつありますが、ただ単にコロナ前の状態に戻すのではなく、更により良い社会とすべく、労働者自主福祉運動をはじめとする労福協の役割を中央や地域で発揮するとともに、公的セーフティネットの強化を継続して求めていく必要があります。

中央労福協ではこれまで、コロナ禍で生活に困難を抱える人たちやその相談・支援活動を応援する「ろうふくエール基金」の取り組み、「奨学金制度改革・教育費負担軽減」運動など、社会的な取り組みを展開してきました。また、コロナ禍によってさまざまな活動の制限が余儀なくされる中でも、新しい手法を取り入れ、創意工夫を凝らし、労福協運動を継続することができたのは、ひとえに皆さまのご協力があってのことです。心より感謝申し上げます。

「つながる・寄りそう・支え合う」をキーワードに、地域でネットワークを広げ、「2030年ビジョン」の実現と、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」持続可能な社会の創造をめざして、「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会に向けてともに前進していきましょう。

貴協議会の60年にわたる活動の貴重な歴史と経験を元に、今後、ますますご発展されることを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

「安心・共生の福祉社会」の 実現に向けて



静岡県副知事
増井 浩二

一般社団法人静岡県労働者福祉協議会が創立60周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和39年の創立以来、県内の労働者福祉事業団体の中核組織として、勤労者福祉の向上に重要な役割を果たし、成果を上げてこられました。60年の長きにわたる本県への多大な貢献に深く敬意を表しますとともに、歴代の貴協議会役員や会員の皆様の御尽力に改めて厚く感謝申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、社会経済活動の正常化が進んでまいりましたが、一方で、少子高齢化による人手不足の深刻化や物価高騰の長期化、激甚化する自然災害の増加などにより、社会的に弱い立場にある勤労者・生活者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、県民一人ひとりが働きがいと生きがいを実感しながら、安心して暮らせる社会づくりを進めるためには、労使や行政など関係者の一層の対話と連携が必要です。特に、安心・共生の福祉社会の実現を目指し、関係労働福祉団体などと連携しながら、政策提言や社会運動を推進されている貴協議会の活動は、関係者の対話を進めていく上で大変重要であります。また、フードバンク活動や消費者被害対策などの活動も、本県における勤労者福祉の向上に大いに寄与しているところであります。

人口減少・少子高齢化が進む中、県では、総合計画において、医療や福祉の命の基盤を守ることはもとより、活力ある地域を維持していくため、性別、国籍、年齢、障害の有無にかかわらず、多様性を尊重し、一人ひとりの個性を大切にしながら、多様な人材が生き生きと活躍できる社会の実現を目指しており、貴協議会が目指す安心・共生の福祉社会の実現と軌を一にするものであります。県といたしましても、総合計画において主要な施策として掲げた「安心して暮らせる医療・福祉の充実」や「誰もが活躍できる社会の実現」などに向けた取組を積極的に推進してまいります。

貴協議会におかれましては、今後も安心・共生の福祉社会の実現のため、勤労者福祉向上の取組を牽引していただくとともに、本県の施策の推進に対し、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協議会がこの60周年を契機にますます発展されることと、会員の皆様の一層の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

たくさんの「激励メッセージ」。これからも共に歩んでいきます。



日本労働組合総連合会
静岡県連合会
会長 角山 雅典 様

福祉はひとつを合言葉に
静岡県労働者福祉協議会の創立60周年を心からお祝い申し上げます。幾多の困難を乗り越え、全国に誇る県労福協を築き上げられた多くの先達をはじめ、運動を支えてこられた関係各位の皆様方に敬意を表します。県民一人ひとりが、働きがいと生きがいを実感しながら安心して暮らせる社会づくりに向け、さらに発展されますことを祈念いたします。



静岡県労働金庫
理事長 増田 泰孝 様

静岡県労働者福祉協議会が創立60周年を迎えたことに心よりお祝い申し上げます。長きにわたる労働者福祉運動は、県下のはたらく仲間の生活向上へ大きく貢献し続けています。この福祉の輪が一層広がるよう、手を取り合い共に歩んでいきましょう。



一般財団法人
静岡県年金福祉協会
理事長 大須賀 紳晃 様

静岡県労働者福祉協議会の創立60周年にあたり心よりお祝い申し上げます。連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくることを目標に掲げ、これまで大きな成果を成し遂げられたことに心より敬意を表すとともに今後、益々のご発展を祈念します。



株式会社 静岡ユニオントラベル
代表取締役社長 菅 勝幸 様

静岡県労福協が創立60周年を迎える心よりお祝い申しあげます。長きにわたり静岡県で働く労働者とそのご家族の幸せの実現を目指し、ご健闘してきた貴組織の功績に対して敬意を表するとともに、今後ますますご発展されることをご祈念申し上げます。



こくみん共済 coop
静岡推進本部
本部長 鈴木 隆博 様

60年の歴史に敬意を表しますと共に、日頃の当会の事業推進へのご理解ご協力に感謝申し上げます。
「福祉はひとつ」。私たちはこれからも、「保障の生協」の立場で、各事業団体と連帯・協同し、安心・共生の福祉社会づくりをめざして参ります。



静岡県生活協同組合連合会
会長 稲垣 滋彦 様

創立60周年おめでとうございます。長年にわたり県内の勤労者の生活支援・向上のためにご尽力されてきたことに敬意を表します。
——これからも 協同の力 出し合いで 暮らし支える 頼もしき同胞(はらから)——



ライフサポートセンター友の会
会長 吉岡 秀規 様

生活苦にあえぐ労働者のために始まったこの運動は「労働者のための、労働者による福祉事業」を推進していく運動にほかなりません。ひとつの時代が終わり、確実に時代が変わり始めました。60周年を機にさらなる前進を期待いたします。



静岡県勤労者協議会連合会
会長 堀内 武治 様

静岡県労福協創立60周年を心からお祝い申し上げます。平和と幸せな生活を守り、心暖かな社会づくりに邁進している県労福協の活動に、心から敬意を表します。私たちも、皆様と連携し、精いっぱい活動をすすめる決意です。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



公益財団法人
静岡県労働者福祉基金協会
理事長 角山 雅典 様

温故知新の想いを大切に
静岡県労働者福祉協議会が、このたび設立60周年という節目を迎えたことを心からお慶び申し上げます。
この60年という歴史を振り返ることによって、結成当初からの諸先輩方の想いを改めて確かめるとともに、時代に即した運動を展開することで、次の10年、20年へとますます御発展されますことを御祈念申し上げます。



一般財団法人
静岡県勤労者信用基金協会
理事長 赤池 浩章 様

「衣・食・住」-“当たり前”的生活がままならない人々が増えている中、労福協運動は、労働者福祉の枠を超えて、すべての人々の豊かな暮らしを実現する取り組みが求められています。勤信協も労福協運動の理念を大切に、これからも共に歩みをすすめていきます。



特定非営利活動法人
フードバンクふじのくに
理事長 日詰 一幸 様

静岡県労福協創立60周年、誠におめでとうございます。これまで60年間にわたり、地域で働く人々の福祉増進のために力を注いでこられたことは実に素晴らしいことです。これからも静岡県内勤労者の大きな支え手となって発展されることを願っています。



特定非営利活動法人
静岡県ボランティア協会
理事長 小野田 全宏 様

共生の福祉社会づくりの歩みに感謝
労働者福祉に関わる「静岡県労福協」の皆さんとの出会いと、これ迄の取り組みは、“動くつながる夢笑顔”を基に協会発足以来46年間歩んできた本協会にとって、何時も傍に居て下さる存在として大変大きな支えであります。自然災害が続発している今日、本協会のみならず多くの県民から期待されています。この歩みを更に強固な連帯、顔の見える関係に育んでいきたい思いです。

静岡県労福協の使命(MISSION)

① 社会的運動と政策制度の実現

フードバンク事業による生活困窮者支援、多重債務問題、奨学金問題、消費者保護、環境保全、食の安全、防災、特殊詐欺対策など



② 勤労者の生活支援

ライフサポートセンター活動、就労、未組織勤労者・退職者、勤労者共済会などの支援

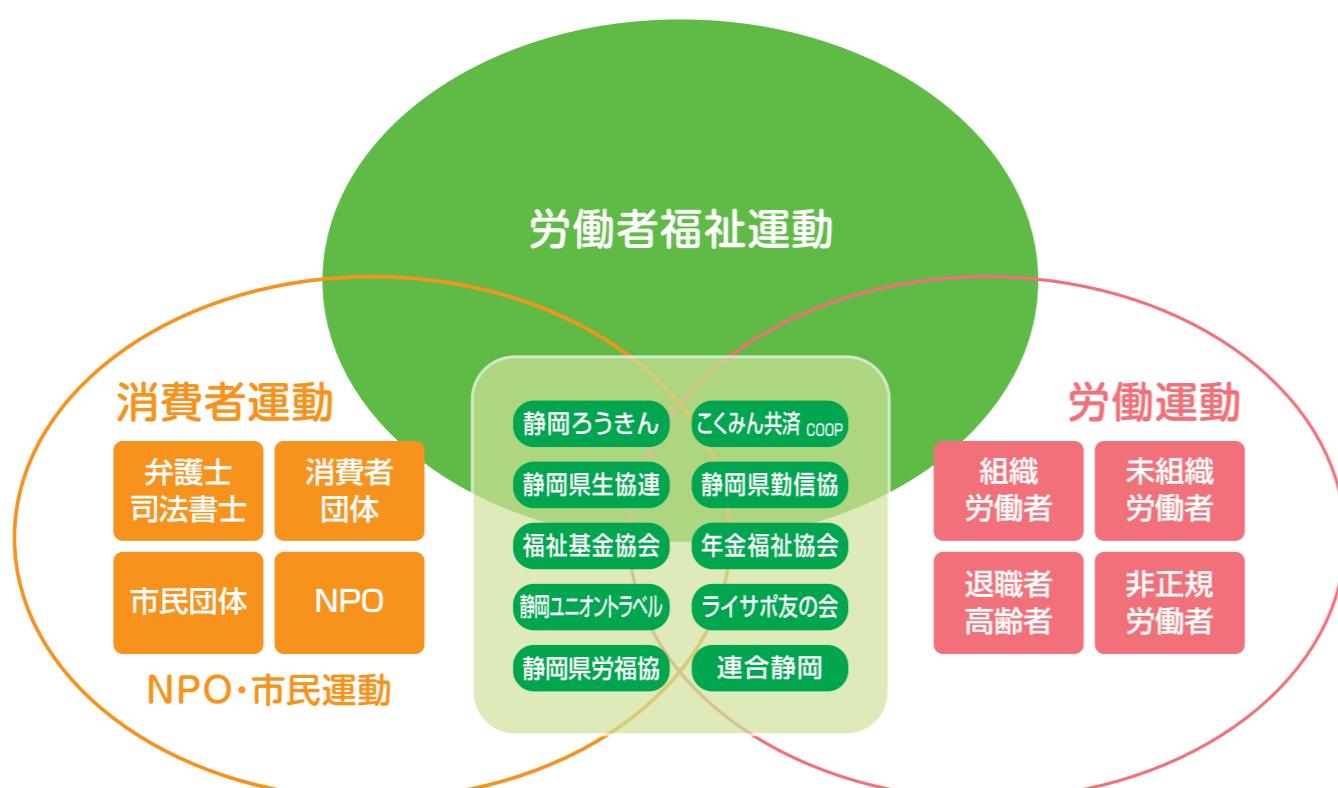
③ 労働者自主福祉事業の育成

事業団体利用促進活動と支援、人材育成、地域役立資金※活用、国内・海外交流など



※地域役立資金は、静岡ろうきんの会員が協働で生み出した成果を県下の勤労者の自主福祉運動の推進・発展に役立てるために創設した資金

労福協運動のポジショニング



静岡県労福協の組織

【幹事会の構成】(2023年6月現在)

■地区労福協(21名)

県下全21地区より各1名

■連合静岡(6名)

自動車総連、JAM静岡、UAゼンセン、電機連合、自治労、県教組

■加入者組織(4名)

静岡県勤協連、ライサボ友の会、県退福協、ろうきんグリーン友の会

■事業団体(7名)

静岡ろうきん、こくみん共済 coop、静岡県生協連、静岡県勤信協、福祉基金協会、年金福祉協会、静岡ユニオントラベル

【組織団体】

労働団体	連合静岡 静岡ろうきん こくみん共済 coop 静岡県生協連 静岡県勤信協 福祉基金協会 年金福祉協会 静岡ユニオントラベル 静岡県勤協連 ライサボ友の会 県退職者福祉協議会 ろうきんグリーン友の会
福祉事業団体等(11)	

地区と地域のエリア区分

西部ブロック			中部ブロック			東部ブロック		
西遠地域 労福協	労福協 中遠地域	労福協 東遠地域	労福協 志太榛原地域	労福協 静岡地域	労福協 富士地域	労福協 沼津地域	労福協 伊豆地域	
浜松市 労福協			榛南地区労福協	島田榛北地区労福協	志太地区労福協	富士宮地区労福協	田方地区労福協	伊東熱海地区労福協
湖西地区労福協	浜北天竜北遠地区労福協	浜松地区労福協	磐田地区労福協	袋井地区労福協	小笠南地区労福協	清水地区労福協	三島地区労福協	賀茂地区労福協
					掛川地区労福協		北駿地区労福協	裾野地区労福協
							沼津地区労福協	

地域・地区活動の4分野(活動例)			
教育研修	社会貢献	文化・レクリエーション	行政要望など
文化講演会 生活支援・応援・見直し 各種研修会・学習会 視察研修会 労働者福祉運動小史	清掃活動 若者出会い支援 健康イベント チャリティーバザー 法律・年金相談 フードドライブ	ソフトボール大会 ボウリング大会 フェスティバル ファミリーマーチ 親子ふれあい映画会 チャリティーゴルフ	協調融資制度 首長懇談会・要望 役員・委員の派遣 まつり運営参加 議員懇談会 勤労者共済会支援

県内に広がる福祉の拠点 地域・地区拠点の紹介

地域役立資金の「地域・地区拠点づくり資金」を活用して

県内6地域と14地区にいつでも気軽に立ち寄ることができる「場づくり」を実現しました。

自主福祉運動の「砦」になることを願います。

番号	地区名	事務所名	所在地	電話番号
1	湖西地区	湖西地区事務所	湖西市鷺津5244 桐屋ビル1F	053-576-2002
2	西遠地域	西遠地域事務所	浜松市中央区上西町1270 友愛会館内	053-465-1155
3	浜北天竜北遠地区	浜北天竜北遠地区事務所	浜松市浜名区小松198-3	053-545-9225
4	中遠地域	中遠地域事務所	磐田市見付3070-1 エミネンス加茂川A-205	0538-32-2706
5	袋井地区	袋井地区事務所	袋井市田町2-1-10 丸井ビル2階	0538-45-1221
6	掛川地区	掛川地区事務所	掛川市龜の甲1-12-21 JAM静岡会館内	0537-61-2122
7	小笠南地区	小笠南地区事務所	掛川市大坂526	0537-28-9566
8	島田榛北地区	島田榛北地区事務所	島田市本通4-3-9島活性会館2階	0547-36-7371
9	志太榛原地域・榛南地区	志太榛原地域・榛南地区事務所	藤枝市田中3-7-45 藤枝市勤労青少年ホーム内	054-645-2333
10	静岡地域	静岡地域事務所	静岡市葵区黒金町12-5 丸伸ビル3F	054-269-4628
11	清水地区	清水地区事務所	静岡市清水区島崎町223 清水テルサ2F	054-351-9222
12	富士宮地区	富士宮地区事務所	富士宮市弓沢町150 富士宮市庁舎 地下1階	0544-24-6029
13	富土地域	富土地域事務所	富士市永田町1-124-2 EPO富士ビル101号室	0545-57-6029
14	沼津地域	沼津地域事務所	沼津市新宿町9-6 佐藤ビル1階	055-921-1400
15	三島地区	三島地区事務所	三島市大宮町3-19-14 白井ビル201号室	055-955-7670
16	裾野地区	裾野地区事務所	裾野市佐野9-8 ピューコート久保 弐番館102	055-919-2996
17	北駿地区	北駿地区事務所	御殿場市二枚橋239 ワタナベビル2F	0550-70-9915
18	田方地区	田方地区事務所	伊豆の国市田京143-3 東陽企画ビル2F	0558-99-9800
19	伊東熱海地区	伊東熱海地区事務所	伊東市松川町5-13 内山ビル202	0557-36-2655
20	賀茂地区	賀茂地区事務所	賀茂郡東伊豆町稻取637-5	0557-29-6116

静岡県労福協の活動紹介

人と暮らし、環境に優しい福祉社会の実現

対県要請

勤労者の生活に対する不安を解消し、安心・安全な暮らしの向上に向け、労働者の方、事業団体からの要望をまとめ、毎年静岡県へ要望書を提出しています。



県知事要請

福祉事業団体(関係団体)間の連絡・調整

事業団体実務責任者会議を定期的に開催して、情報交換や課題について協議しています。



事業団体実務責任者会議

地域役立資金

「地域役立資金」は、県下の労働者自主福祉運動の推進、発展に寄与する活動に役立てることを目的として、ろうきんの会員の総意のもとに創設された資金です。このうち、地域・地区拠点づくり、人づくりに係わる資金を県労福協で管理・運用しています。



地域役立資金運営管理委員会

中国浙江省総工会との国際交流

国際交流事業として中国浙江省総工会と相互訪問を実施しています。2024年4月に第12次訪日団を受け入れました。



第12次特別友好訪日団

教育ローン利子補給制度

教育ローン利子補給制度は「静岡ろうきん」の会員が創設した「地域役立資金」を活用し、県労福協が行う利子補給制度です。静岡ろうきんの教育ローンを利用する方で一定の条件を満たす方が対象です。



ロッキー奨学金

静岡県内に在住もしくは企業などに勤務する労働者の子弟で経済的支援が必要と認められる学生で、いずれの学生も各大学から推薦いただいた方達が奨学金の対象者です。



ロッキー奨学金授与式

フードバンク事業

2014年からNPOなどと連携・協同し、「もったいない」から「ありがとう」への活動としてフードドライブに協力、食品廃棄物の削減、生活困窮者支援、災害時の食料支援をしています。物価高で寄贈される食品は減る一方で必要とされる方は増加しています。



フードバンクふじのくに理事会

労福協だより

労福協役員、労組職場委員をはじめ勤労市民に向けた労働者福祉運動の情報誌として、労働者福祉運動浸透の一助とするために年4回発行しています。(11,000部)(労福協だよりは「しづおかeブックス」にも掲載されています。)



ホームページ

労福協の基本理念、歴史や活動報告を掲載しています。労福協をより身近に感じていただくために地区労福協事務員などが順番で「ブログ」を投稿しています。



Worker's Library

「Worker's Library」は、組合役員の皆さんや一般労働者の皆さんからのご要望にこたえるため、労働運動の教育体制など、システム化することを目的として開設された情報閲覧WEBサイトです。



県内の行政・自治体・弁護士会・司法書士会・NPO・労働者共済会などとともに連携して行う事業



フードドライブ仕分け作業



消費者問題ネットワークしづおか



富士山麓育林活動



つながる仲間ミーティング



冬休み子ども食料支援



労働者福祉共済事業連絡会議



福祉強化キャンペーン



ウクライナ希望のつばさ

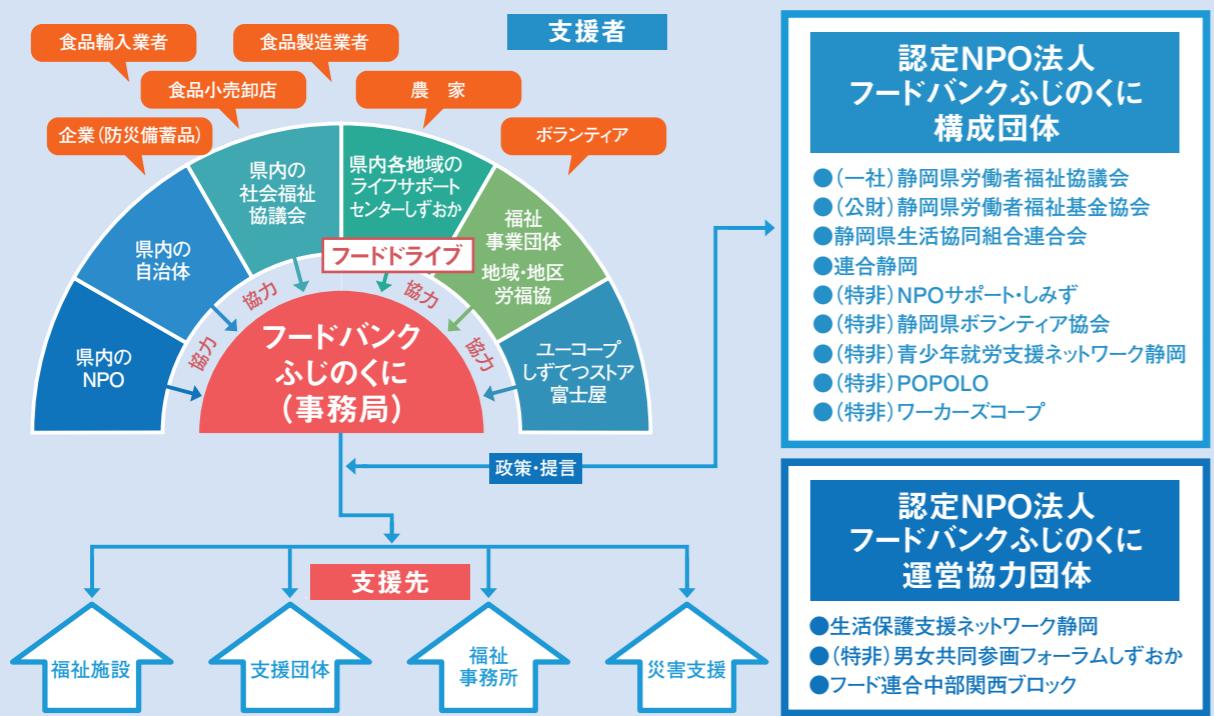
活動トピックス

● フードバンクふじのくに



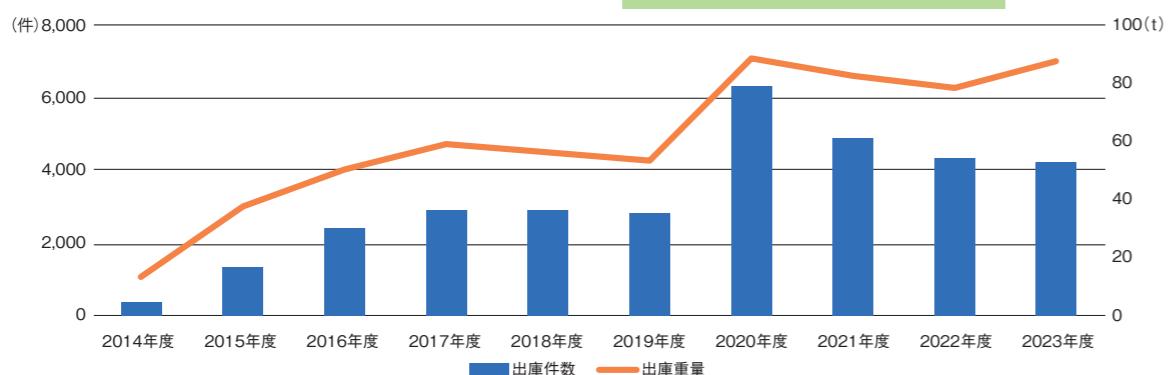
増加する食品ロスと深刻化する生活困窮者のふたつの社会課題、それらを解決するために行われる活動が「フードバンク活動」です。

フードバンクふじのくには、2014年5月20日より活動を開始しました。活動の趣旨から、公益性の高い団体を目指し、静岡県労働者福祉協議会・静岡県労働者福祉基金協会・静岡県生活協同組合連合会・連合静岡・静岡県労働金庫や地域のNPOが一つの団体を構成し、地域の皆様と共に歩み、そして地域社会にとってかけがえのない活動を展開し、10年が経過しました。



10年間の出庫件数・出庫重量 推移

累計 総出庫件数：32,985件
総出庫重量：約618トン



年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
出庫件数	367	1,385	2,422	2,902	2,915	2,873	6,403	4,997	4,414	4,307
出庫重量	14	38	51	60	57	54	90	84	80	90

● つながる仲間ミーティング「各地区活動報告」

活動の輪が地域に広がっています。

富士地区×富士市民活動センター（NPO東海道・吉原宿）

2022年6月第1回つながる仲間ミーティングを開催しました。2023年度より活動を再開した地区労福協若者の会(Sips)幹事会で、NPOより市民活動についての話を聞き、富士市の課題や、身の回りの問題について考えるワークショップを実施しました。出席した組合員が、取り組んでみたい課題について自らができる考えました。今後も若者の会とNPOとの関りを深めながら、地域を元気にする取り組みを企画していきます。

清水地区×清水市民活動センター（NPOサポートしみず）

2022年7月に第1回つながる仲間ミーティングを開催し、2023年度には3つの取り組みを行いました。

- NPO清水障害者サポートセンター「そら」に労福協4役で訪問しました。訪問時に問題点として挙がっていた介護スタッフ等の人材不足については、地区労福協の行政要望で取り上げていくことにしました。
- 清水地区労福協定期総会において、NPOサポートしみず磯谷理事長よりNPO活動についての講演を行い、地区的つながる仲間ミーティングの活動については年間の取り組みとしていくことを確認しました。
- 市民活動団体の清水おやこ劇場と交流を深めました。この会は子どもたちが観劇や主体的な遊びを通して、やる気ややり抜く気持ち、思いやりの気持ちなど非認知能力を高める活動を行っています。今後もお互いの課題や協働できる取り組みを話し合いながら進めていきます。



島田榛北地区×島田市民活動センター（NPOクロスマディアしまだ）

2022年5月第1回つながる仲間ミーティングを開催しました。クロスマディアしまだの主催事業「子どもわくわく」の特別プログラムとして、労福協若者の会による企画「山の家1DAYピチキャンプ(カレーズクリーと川遊び見守り)」「本のブクブク交換」の2講座を運営しました。若者の会が主体的に実施者となって事業を行い、NPOや市民活動団体と同じ目標に立ち、苦労や喜びを体感することができました。今後も若者の会とNPOとの関りを深めながら、地域を元気にする取り組みを企画していきます。



北駿地区×御殿場市民活動センター

2023年7月第1回つながる仲間ミーティングを開催しました。労福協が市民活動センターの活動を幹事会員に紹介していきます。

浜松地区×浜松NPOネットワークセンター・浜松市市民協働センター

2023年7月第2回つながる仲間ミーティングを開催しました。新たに加わった浜松市市民協働センター(はまこうら)の活動について説明を聞きました。今後は、労福協が市民協働センターからの情報を会員に紹介していきます。

富士宮地区×NPO母力向上委員会

地区労福協がつながる仲間ミーティングの参加を希望され、社会貢献への取り組みを組織全体のものとしたいとのことで、中間支援団体の役割を十分に果たすことができるNPO法人母力向上委員会にお願いしました。2024年2月に行われた第1回ミーティングでは、お互いの活動を紹介しあう中で意気投合、4月に母力向上委員会の子育てに関する研修「Co育てアシストプログラム」を地区労福協で取り組むことになりました。この研修には労福協幹事だけでなく若者の会や退福協会員も加わり、「子育てしやすい富士宮」を目指し一緒に活動を進めます。

磐田地区×磐田市市民活動センターのっぽ

2023年6月第1回つながる仲間ミーティングを開催しました。「いわた子どもささえあいネットワーク」設立準備のための「つながりづくり交流会」に加盟し子どもたちでつながるネットワークづくりに参加しています。今後も個別のNPO等との関りも深めながら、自分たちのできることを見つけ組んでいきます。

静岡県労福協の歴史

10年間の歩み

1950年	中央の情勢に呼応して、「静岡県福祉対策協議会」結成の動き。
1958年	中央における労働者福祉強化の動向を受けて、県評、全労、労金、労済の代表者の間で県労福協を結成する気運が高まった。
1964年	静岡地区に始まり県下28地区労福協が結成されたのを受けて、同年11月に念願の「県労福協」が結成された。
1966年	県労政課の主催で行われていた「静岡県労働文化祭」が、県からの補助金事業として開催することになる。
1969年	志太榛原地域を皮切りに、地区労福協活動の自主自決体制の確立をめざした地域労福協活動が展開される。
1978年	国際的な視野を広める取り組みから、第一次友好訪中団を派遣する。
1985年	労福協、労働組合、福祉事業団体の強い要望と静岡県の協力により、労働者福祉運動の拠点として労働者総合会館(労政会館)が完成する。
2004年	2004年6月、県労福協結成40周年を祝う記念式典が行われた。
2006年	連合静岡、静岡県労金、全労済県本部、県労福協の4団体が主体となり、「ライフサポートセンターしおか」を設立した。
2010年	第48回定期総会にて法人化を承認、2010年6月10日に正式名称「一般社団法人静岡県労働者福祉協議会」に改組した。
2012年	2012年国際協同組合年・静岡県実行委員会へ参画し諸活動に参加した。「地域役立資金」を創設した。
2014年	5月に10を超える団体と連携して「フードバンクふじのくに」を立ち上げた。2014年6月、県労福協結成50周年を祝う記念式典が行われた。
2015年	中央労福協が進める「奨学金制度改善」に向けた署名活動を実施した。
2016年	相互理解と相互協力を目的に第1回協同組合大会を実施した。
2017年	「語り部育成ゼミ」を全地域・地区ごとに開催した。
2018年	労福協運動を若い人に継承する目的で第1回労働者自主福祉運動体験学習会を開催した。(賀川記念館、北淡震災記念公園)退福協、グリーン友の会をライサポ友の会の組織内組織とした。
2019年	財団法人 静岡県財形事業協会が7月24日に清算終了、事業終結した。
2020年	2020年4月から2021年8月にかけてコロナ感染症拡大防止のため4度の緊急事態宣言が出され、社会活動の自粛が求められた。

静岡県労福協 10年の歩み

県労福協三役名簿

年度	理事長	副理事長			専務理事
2014	吉岡 秀規	吉田 敬哲	中西 清文	古川 正明	佐竹 功
2015	吉岡 秀規	吉田 敬哲	中西 清文	古川 正明	佐竹 功
2016	中西 清文	吉田 敬哲	池富 彰	古川 正明	佐竹 功
2017	池富 彰	稲垣 滋彦	中西 清文	古川 正明	佐竹 功
2018	池富 彰	稲垣 滋彦	角山 雅典	古川 正明	佐竹 功

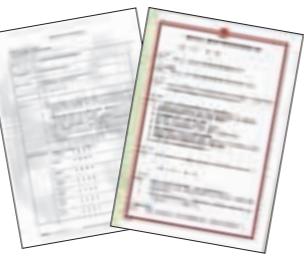
年度	理事長	副理事長			専務理事
2019	池富 彰	稲垣 滋彦	角山 雅典	古川 正明	鈴木 隆博
2020	池富 彰	稲垣 滋彦	角山 雅典	古川 正明	鈴木 隆博
2021	池富 彰	稲垣 滋彦	角山 雅典	古川 正明	鈴木 隆博
2022	池富 彰	稲垣 滋彦	角山 雅典	古川 正明	鈴木 隆博
2023	中西 清文	稲垣 滋彦	角山 雅典	増田 泰孝	鈴木 隆博



県労福協結成総会
(熱海ホテル万代)



1985年
労働者総合会館 竣工



2010年6月
定款・法人登記証明書



50周年記念事業で
作成したDVD

2014年度

県労福協・事業団体の動き

- 4月 2日 第64回労働者総合美術展～6日
- 5月19日 フードバンクふじのくに設立総会
- 6月17日 県労福協第52回定期総会&創立50周年祝賀会
- 7月23日 ロッキー奨学金授与式
- 8月 4日 島田榛北地区労福協事務所開所式



県労福協 創立50周年祝賀会



祝賀会 50周年制作DVD視聴



フードバンクふじのくに設立総会



フードバンクふじのくに設立記念フォーラム



島田榛北地区労福協事務所開所式



島田榛北地区労福協事務所外観



語り部講師育成セミ 立ち上げ



協同組合間協同会議

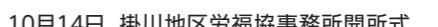
特徴

2014年度は静岡県労福協創立50周年の記念すべき年でした。50年の節目の新事業として「フードバンクふじのくに」が10を超える団体の連帯・協同で立ち上がりました。

2015年度

県労福協・事業団体の動き

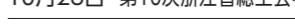
- 4月 8日 第65回静岡県労働者総合美術展～12日
- 6月 9日 県労福協第53回定期総会
- 6月11日 第3回語り部育成ゼミ特別講座
- 6月23日 静岡県労働者信用基金協会50周年式典
- 8月11日 協同組合間協同実践研究会WG



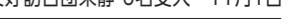
静岡労済第60回通常総代会



静岡県労働者信用基金協会50周年式典



フードバンクふじのくに設立1周年記念フォーラム



第10次浙江省総工会特別友好訪日団来静



掛川地区労福協事務所開所式



第30回浜松労福協まつり



自主研究公開研究会
「現代学生の経済的苦悩 - 奨学金とアルバイト - 」



静岡県内外のボランティアによる救援活動の
ための団上訓練

特徴

協同組合間協同実践研究会より県労福協に答申された75の提言を2つのワーキンググループが協議・検討を重ね、具体化や継続研究項目などに整理され県労福協に再度答申されました。

社会情勢

- 4月 消費税率が5%から8%に引き上げ
- 6月 富岡製糸工場が世界文化遺産に登録
- 9月 御岳山が噴火(噴火警戒レベル3となる)
- 3月 北陸新幹線が開業

2016年度

県労福協・事業団体の動き

4月13日 第66回労働者総合美術展～17日

6月 7日 県労福協第54回定時社員総会

6月 7日 第1回協同組合大会



ワーカーズライブラリー調印式

浜北天竜北遠地区事務所開所式

ロッキー奨学金授与式

第1回協同組合大会



第10期福祉リーダー塾修了式

中央労福協 第7回加盟団体代表者会議

菊川市災害備蓄品寄贈

連帯社会シンポジウム

特徴

「労働者自主福祉運動討論会のまとめ」を受けて、事業計画に反映し取り組みを進めました。また、「協同組合大会」を開催し事業内容の共有化を図るとともに、事業展開についての統一テーマを確認しました。

2017年度

県労福協・事業団体の動き

4月 5日 第67回労働者総合美術展～9日

6月 6日 県労福協第55回定時社員総会

7月15日 富士山麓育林活動(2012年記念植樹から5年)

7月31日 全労済静岡県本部 創立60周年記念レセプション



全労済静岡県本部 創立60周年記念レセプション

県労福協第55回定時社員総会

静岡ろうきん第65回通常総会

富士山麓育林活動(2012年記念植樹から5年)



全労済創立60周年記念レセプション

静岡県生協連50周年記念式典

県下地区労福協事務局員会議

働き方改革公開研究会

特徴

九州豪雨支援ボランティア派遣、南海トラフ地震ネットワーク委員会等に福祉基金協会と連携して対応を進めました。11月から1月に「生活底上げ・共助拡大キャンペーン」を設定し取り組みました。

社会情勢

6月 上野動物園でパンダ赤ちゃん誕生
9月 桐生祥秀 日本人史上初の9秒台となる9秒98を記録
11月 トランプ大統領、初来日
12月 将棋・羽生善治 史上初 永世7冠
12月 大谷翔平が大リーグのエンゼルスに入団
2月 平昌五輪で日本冬季最多13メダル

2018年度

県労福協・事業団体の動き

4月11日 第68回労働者総合美術展～15日

6月 5日 県労福協第56回定時社員総会

6月22日 引佐地区労福協解散総会

11月 1日 「福祉強化キャンペーン」～2019年1月31日



中央労福協全国研究集会

引佐地区労福協解散総会

フードバンク事業推進委員会

富士山麓育林活動



特徴

労働者自主福祉運動体験学習会を開催し、自主福祉運動の理解を深めることができました。奨学生問題の電話相談会を開催し、司法書士会・福祉基金協会と連携し教育費負担への不安など切実な声に対応しました。

2019年度

県労福協・事業団体の動き

4月10日 第69回労働者総合美術展～14日
(70回中止により実質最後の美術展となった)

6月11日 県労福協第57回定時社員総会

9月～10月 各地域労福協意見交換会



労働者総合美術展表彰式

連合静岡30周年記念レセプション

福祉基金協会成果発表セミナー

地域役立資金管理運営委員会



特徴

消費者教育推進県域協議会との協力で翌年度半数以上の公立高校で金融リテラシー教育の授業を実施することとなりました。新型コロナウイルス感染症の拡大により活動の延期・中止等が発生しました。

社会情勢

4月 新元号「令和」を菅官房長官が発表
9月 ラグビーW杯日本大会開幕 日本8強
10月 消費税率10%となる(食料品などは8%)
2月 新型コロナウイルス世界的流行 政府が小中高の休校要請
3月 東京五輪・パラリンピックコロナの影響1年延期

2020年度

県労福協・事業団体の動き

4月 6日 フードバンクふじのくにシズウェル事務所開所式

6月 9日 県労福協第58回定時社員総会(書面)



1月 6日 労働者協同組合法学習会(2022年10月1日から施行)

1月 各地域労福協意見交換会



コロナ禍でのWeb幹事会

コロナ禍でのWeb幹事会

フードバンク シズウェル事務所開所式

こくみん共済coop総会(縮小開催)



特徴

新型コロナウイルス感染症の拡大により様々な活動において、自粛・制約をせざるを得ず県労福協定時社員総会を書面議決としました。行事の中止が相次ぎ、制約のある活動運営を余儀なくされました。

社会情勢

4月 新型コロナウイルス感染症の拡大 緊急事態宣言発令

4月 国民一人当たり10万円の特別定額給付金を閣議決定

7月 レジ袋有料化

10月 劇場版 鬼滅の刃 無限列車編 日本歴代興行収入第1位を記録

2月 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種開始

3月 春の甲子園が2年ぶり開催

2022年度

県労福協・事業団体の動き

6月 2日 中央労福協全国研究集会(2022年度全国研究集会in静岡)

6月 7日 第60回定時社員総会(Web)

6月12日 ウクライナ避難民昼食会



ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA(昼食会)



10月31日 労働者協同組合法・協同労働セミナー

12月10日 冬休み子ども食料支援～11日

3月 3日 静岡ろうきん創立70周年記念祝賀会

特徴

コロナ禍3年目となる定時社員総会をWeb形式で開催しました。富士、清水、島田、浜松地区労福協で「つながる仲間ミーティング」がスタートし、ワーキングが進められました。

2023年度

県労福協・事業団体の動き

6月 6日 県労福協第61回定時社員総会 4年ぶりの集合開催

7月25日 ロッキー奨学金授与式

10月18日 勤労者福祉共済事業連絡会議

11月19日 自主福祉運動学習会(神戸:賀川豊彦記念館)～20日

12月 9日 ひとり親家庭への冬休み子ども食料支援～10日

1月11日 ALWFトップセミナー・新春のつどい

2月～3月 各地区労福協意見交換会

3月 6日 能登半島地震ボランティア活動支援金を静岡県ボランティア協会へ寄与



2021年度

県労福協・事業団体の動き

6月 8日 県労福協第59回定時社員総会(Web)

7月27日 ロッキー奨学金授与式(10年度目)



8月 4日 県東部豪雨(熱海土石流)災害寄付金寄贈

12月18日 冬休み子ども食料支援(新たな取り組み)～19日



県労福協総会 リモート開催

スズキ労連フードバンク車両寄贈式

消費者問題ネットワーク第16期総会

食品保管庫使用貸借契約調印式

ALWFセミ「行動経済学」ナレッジ理論

県東部豪雨災害寄付金寄贈

安倍川流木クリーンまつり

ひとり親世帯への子ども食料支援

特徴

コロナ禍2年目となる第59回定時総会はWeb形式で開催しました。コロナ禍でのひとり親世帯の子ども支援として、県母子寡婦福祉連合会と協力し「冬休み子ども食料支援」を行いました。

社会情勢

4月 松山英樹 マスターズ優勝

7月 静岡県東部豪雨(熱海土石流)災害発生

7月 東京五輪開幕 史上最多58メダル

11月 大谷翔平 メジャーMVP

2月 北京五輪開幕 メダル18個冬季最多

2月 ロシアがウクライナへ本格的な軍事侵攻

特徴

新型コロナウイルス感染症は感染法上の分類が5月8日から5類に引き下げられ活動が活発化しました。

社会情勢

5月 新型コロナウイルス感染症5類移行

5月 石川能登 地震度6強

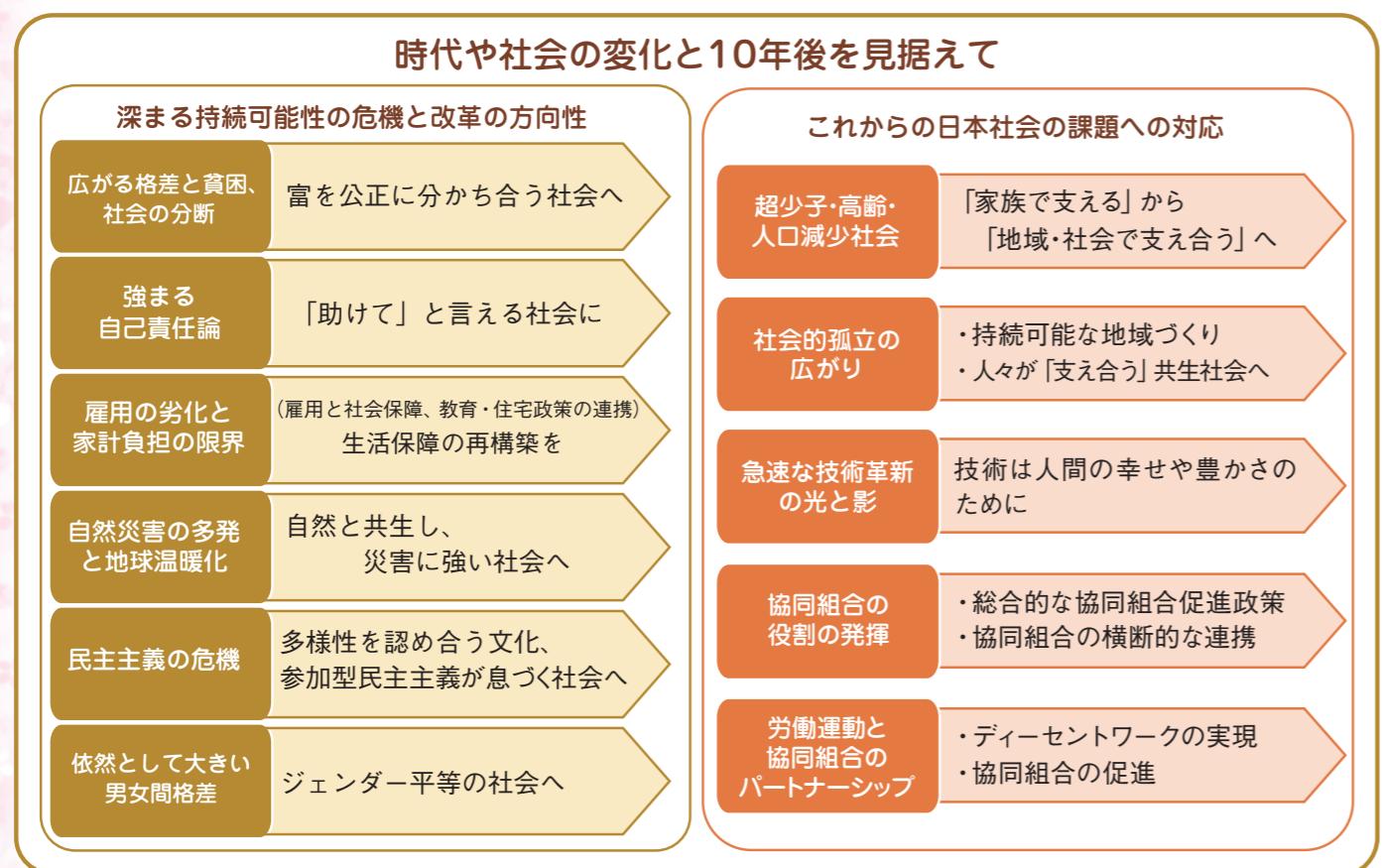
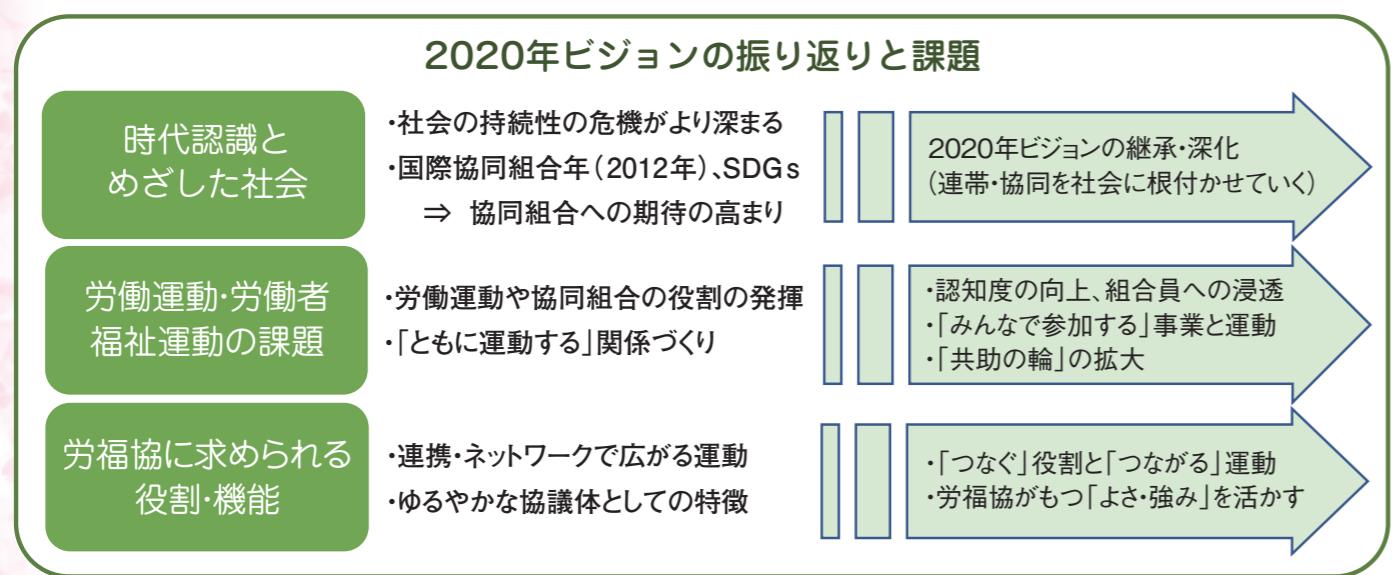
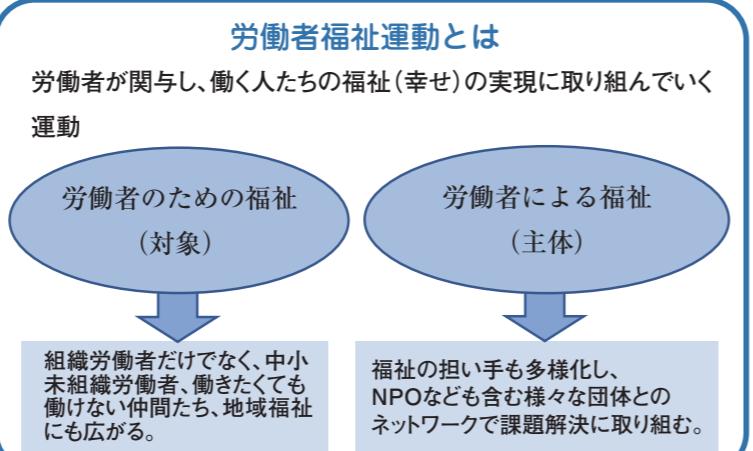
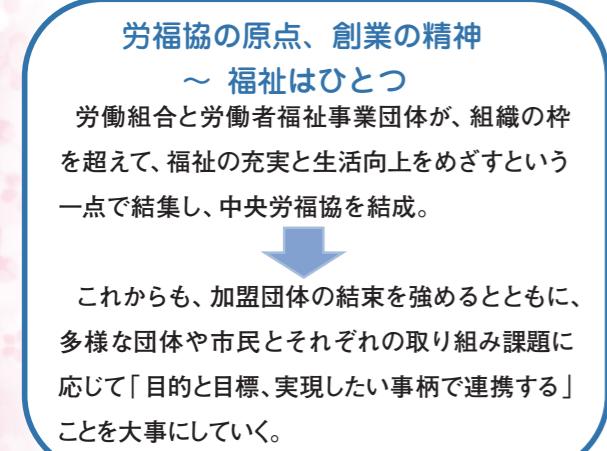
10月 ハマスとイスラエルの武力衝突

10月 将棋・藤井聰太 史上初八冠達成

11月 日本プロ野球 阪神38年ぶり日本一

1月 元日に能登半島地震 地震度7

「労福協の理念」「2030年ビジョン」のフレームワーク



労福協の理念

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります

2030年にめざす社会像

貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会

2030年ビジョン

1. 多様なセーフティネットで、働くことやくらしの安心を支えます。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 安心できる社会保障制度やセーフティネットを強化します
- (2) 貧困や社会的排除をなくし、格差を是正します
- (3) 学びと住まいのセーフティネットをつくります
- (4) 労働運動と消費者運動をつなぎます
- (5) 持続可能で、安心してくらせる社会をつくります

2. 労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、すべての人のくらしを生涯にわたってサポートします。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 協同組合の基盤を強化し、活動領域を広げます
- (2) 協同組合の社会的価値と力量を高めます
- (3) 労働者福祉事業団体と労働組合との「ともに運動する」関係を強めます
- (4) 誰ひとり取り残さず、共助の輪を広げます

3. 地域の様々なネットワークで、支え合い、助け合う地域共生社会をつくります。

【ビジョンを実現するために】

- (1) ライフサポート活動のネットワークを広げ、地域の課題解決につなげます
- (2) すべての人にとって働きやすくくらしやすい地域共生社会をつくります
- (3) 福利厚生の格差を是正し、中小企業や非正規雇用で働く人たちに拡充します

4. 労働者福祉運動を継承・持続するために、人材を育成し、財政基盤を確立します。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 運動を継承する人材を育成します
- (2) 労働者福祉運動への女性の参画を促進します
- (3) 財政基盤を確立します

福祉事業団体役職員および会員への周知

可視化・定量化

ソーシャルキャピタルの蓄積・ネットワーク力を各団体の経営資源に！

「社会的処方」をキーとした福祉事業団体の役割について ～パーカス経営(存在意義の明確化)の実現による 更なるステークホルダーからの支持と職員のエンゲージメント向上～

背景

- ～ポストコロナ社会に求められる「つながり・支え合い」のあり方の提言：2023厚生労働省労働白書～
 - ・家族や地域社会の支え合い機能の弱体化
 - ・交流や助け合いの意識の変化で「孤独・孤立」が深刻化→孤独・孤立対策推進法への対応
- 労働者福祉事業団体は基本的にウェルビーイングに向けた考え方は共通であり、事業の根幹にこの精神は埋め込まれており、自組織だけではなく地域勤労者・消費者への波及も期待されている。
- ただ、それは暗黙知であり、結果として無意識の中で実現されてはいるものの、必ずしも各人の達成感や実感につながっているわけではない。
- 知る人ぞ知る労福協活動や関連する福祉事業団体の活動はさらにそのプレゼンスを高める必要がある。

【各事業団体の課題】

- (内部的) 若年者の早期退職・高年齢者(定年延長等)のモチベーションアップ・女性活躍支援
- (外部的) デジタル化・少子化・高齢化・会員ニーズの把握と役割発揮…等々

共通課題

1. 地域社会(職域だけではない)への福祉の浸透

- 幸せを実感できる地域をつくる(地域社会で実現するウェルビーイング)。
- 孤立(状態)した人を孤独(感情)にさせない。孤独な人をつくらない。
- メンバーの環境を改善することによりメンバー価値の向上につなげ、それを会員にコミットメントする。

2. 福祉活動を強力に推進する人材の育成

- 活動の意義など個人の経験に任せた伝承ではなく、暗黙知を形式知にすることが求められている。
- 福祉事業団体役職員は、組織・個人の成長・安定に貢献する情報提供能力、そのためのマネジメント、そして組織化する力が求められている。
- 組織の内外に Well-being を浸透させ、モチベーションアップを期待する。

事業団体間協同

- ・他団体の活動を知り、商品利活用の促進を図ることから、さらに利用者を紹介していく
- ・その延長で孤独な人を孤立させない取り組みに発展させる

well-being (ウェルビーイング)

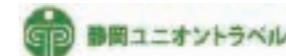
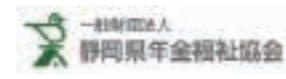
身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること

WHO憲章前文：健康とは肉体的にも、精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあることをいう。

welfare (ウェルフェア)

健康(狭義の) 健康経営 幸せ(ハピネス) 勤労者福祉

※社会的処方：薬を処方することで患者の問題を解決するのではなく、地域の活動サービスなどの社会参加の機会(ひととのつながり)を処方することで問題を解決しようとするもの。社会的に孤立しないよう地域資源を活用することでウェルビーイングを向上させることを目的とする。



■静岡県労福協 ◎地域・地区労福協への支援(地域のネットワークで支え合い、助け合う地域共生社会の構築)

- ・福祉強化キャンペーン
- ・県への行政要望(多様なセーフティネットで安心して暮らせる社会を作るため)
- ・福祉事業団体との連絡調整(フードバンクふじのくに運営支援・消費者被害等の関連課題への対応)
- ・ライサボ友の会(退福協・グリーン友の会) 福祉事業団体が行う事業活動への参画を推奨し福祉社会の向上に寄与を目的として活動する
- ・生涯にわたる学習の機会や生きがいづくり、社会貢献活動等の諸活動に参加し易い環境の提供

■静岡県労働者福祉基金協会 ◎調査研究(自主研究：生活困窮者に係るセーフティネットおよび支援対策の実態と課題)

- ・教育文化向上(福祉とくらし・地域・自主福祉増進各種セミナー)
- ・社会貢献(NPO助成：「幸せを支え合う社会を実現する」ためのプロジェクト)
- ・ALWF県内市民活動センター会議開催・地震対策・労働者のための相談(暮らし何でも相談・生活困窮者に対する相談支援)
- ・労働者の生活安定確保(退職準備セミナー・生きがいづくり支援・生活安定確保・介護セミナー)

■静岡ろうきん ◎ろうきんの理念(人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与 ネットワークで成り立つ)

- ・中期計画「はたらく人とその家族のしあわせづくりのお手伝い'en縁'」により、さらにそのつながりを深めていく
- ・会員における福利共済活動への積極的協力・支援
- ・福祉事業団体等とのネットワーク・協同体制の強化(はたらく人とその家族のWell-Beingの実現)
- ・NPO、非営利・協同セクター等との協同取り組みや活動支援による共生社会の実現に寄与
- ・各年代層が抱える課題や潜在ニーズの把握と解決に向けた情報提供および寄り添った相談の実施

■静岡ろうきん子ども未来財団 ◎組織的支援団体(会員等)による孤独化防止

- ・自立支援機関(司法書士、県市町社協)を経由した支援
- ・財団運営に関わるネットワークを利用した子育て支援・活動報告による共感の拡大

■こくみん共済 coop 静岡推進本部 ◎理念(みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり)

- ・組合員や生活者との接点機会の創出(共済ショップ・訪問・電話・WEB)による保障点検支援
- ・大規模災害への対応(最後のお一人まで、一刻も早い共済金のお支払い)
- ・社会課題への取り組み(7才の交通安全プロジェクト、こどもの成長応援プロジェクト、住まいの保障点検で被災地支援プロジェクト、防災・減災の普及活動)
- ・こくみんLifeサポートの普及・促進

■静岡県勤信協 ◎労働者の信用力を補完することで金融の円滑化を図り、労働者の経済的地位の向上と福祉の増進に寄与する

- ・労働者にとって利用しやすい保証制度への見直しのため労働者のニーズ把握に努め、保証制度改定等につなげる
- ・保証引受している債務者からの返済条件見直しについては可能な限り応じる
- ・代位弁済となった債務者からの再生計画については債務者の意向をしっかりと確認し、申し出には真摯に対応する

■静岡県生協連

- ・平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりに貢献する(自然災害時等緊急時の備え、核兵器廃絶の取り組み、組合員の関心が高いくらしに関わる取り組み、地域課題の解決に向けた連携・協同、行政や政党との定期的な懇談、県労福協・農林水産業団体・消費者団体とのネットワークの深耕)

■静岡県年金福祉協会

- ・すべての転借人の償還が終わるまで貸し手責任の遂行・延滞者の事情を考慮しながらの債権回収
- ・延滞対策会議の毎月開催と延滞者の状況共有・長期延滞者に対する定期的な接触と状況把握
- ・老後の生活に不安を抱く方や年金制度を知りたい方を対象にした年金セミナーの開催

■静岡ユニオントラベル ◎旅行部門：精神的な満足感を充足させるために、旅行等の企画における間接的な支援

- ・利用者のニーズに合わせた取り扱い業務の構築

※社会的処方
→

～地域・地区の労福協や福祉事業団体活動への参加、参画を促す～
リンクワーカーとしての役割意識による総合福祉の実現

あなたの夢をサポートします ようこそ!たすけあいの森へ

ここは“たすけあいの森”
叶えたい夢も困りごとも、ここに来ればもう安心。
たすけあいの森に住む鳥が、
最適なしあわせの実をあなたのもとにお届けします。

資料

資料

一般社団法人
静岡県労働者福祉協議会
☎054-221-6241

目指すのは「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」。関係団体と連携し、県民の福祉向上に取り組んでいます。

LWマガジン
ライフサポートセンター友の会会報
ロッキー奨学金制度
教育ローン利子補給制度
LWサポート婚活事業
LW提携施設・店舗の割引優遇制度



静岡県
労福協

10本の木になる
5種類のしあわせの実。
あなたにぴったりの実は
どれかな?

ハートでつながる
たすけあいの森

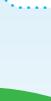
ハートでつながるたすけあいの森には、
あなたの暮らしを守り、未来をつくる
しあわせの実がたくさんなっています。
ぜひ、たすけあいの森を訪れてください。
今のあなたにぴったりの実を見つけてね。

たすけあいの森総合案内はこちら▶ 一般社団法人 静岡県労働者福祉協議会 ☎420-0851

公益財団法人
静岡県労働者福祉基金協会
☎054-273-3000

働く人とその家族の福祉向上のため、調査研究・教育文化・社会貢献・暮らしなんでも相談、生きがいや仲間づくりなどの事業を開催しています。

働く
暮らし
地域の課題解決支援
ロッキーカレッジ開催、ボランティア活動の啓発
図上訓練による災害発生時の対応訓練の実施など



一般財団法人
静岡県労働者信用基金協会
☎054-221-6262

労働組合のない中小企業等に働く方が、資金等からローンを受けられるよう設立された、非営利の信用保証機関です。

働く
暮らし
教育ローンやオートローンの債務保証
マイホームの新築・リフォーム等に伴うローンの債務保証



静岡県労働金庫

☎054-221-6100

働く人がお互いを助け、支え合うために作った福祉金融機関。
働く人たちの暮らしを応援しています。

働く
暮らし
教育ローンやオートローンの債務保証
マイホームの新築・リフォーム等に伴うローンの債務保証
暮らしのマイホーム取得に向けた住宅ローンの相談、商品・情報提供
暮らしの投資信託や個人年金保険等の相談、商品・情報提供



こくみん共済 coop
静岡推進本部
☎054-254-1180

豊かで安心な暮らしのため、生涯にわたる総合的な生活の保障をお手伝いする「保障の生協」です。

暮らし
暮らしの万一年を保障する
暮らしの「住まいの共済」の提供
暮らしの病気やケガをした際の保障制度



静岡県生活協同組合連合会
☎054-204-2348

県下9つの生活協同組合が加盟している連合会。各生協のバックアップや日本生協連等との連絡窓口も担っています。

暮らし
暮らしに合わせた生協のご紹介



一般財団法人
静岡県年金福祉協会
☎054-251-2766

厚生・国民年金保険被保険者の福祉向上を目的とする機関。年金制度の啓発活動を行っています。

暮らし
年金セミナーによる啓発活動



株式会社
静岡ユニオントラベル
☎054-203-6877

「勤労者の余暇活動を豊かに」と誕生した旅行会社。各種ギフト券の販売、損害保険を取り扱っています。

暮らし
団体旅行企画・添乗、視察研修・会議などのコーディネート
暮らし
感謝・お祝いのライフステージに選べるギフトご提供
暮らし
火災・自動車・傷害保険などの損害保険取扱パートナー



ライフサポートセンター友の会
(退福協・グリーン友の会)

☎054-272-5433

社会貢献活動等に参加しやすい環境を提供し、会員の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的としています。

暮らし
暮らしのライフサポートセンター友の会会報の発行など
暮らし
各種セミナーの開催
暮らし
観劇ツアーやハイキング等のイベント開催
暮らし
慶弔共済制度など



連合静岡 ☎054-283-0105

働く人の問題解決や、労働法改正に関する活動を推進。働く人の雇用や権利を守るために活動をしています。

暮らし
日常生活における労働相談窓口の開設
暮らし
社会保障制度の充実に向けた政策実現に向けた議会活動
暮らし
ごみ拾い等のクリーンキャンペーン
暮らし
家族を含めたシーズンごとの余暇活動機会の提供



なぜ??
たすけあいの森が必要なの?
連帯と協同の力とは…

森に木が1本しかなかったら、わたしたちの暮らしはきっと不安だらけ。でも、10本の木がそれぞれの実でサポートしてくれるから、わたしたちは安心して暮らしていく。静岡県労働者福祉協議会は諸団体と心と力を合わせ、個々では難しかったことを可能に変えていく。それが“連帯と協同”的なたすけあいの森。そうやってみんなのしあわせを応援しています。

静岡市葵区黒金町5-1 ☎054-221-6241 <https://shizuoka-rofukukyo.jp>

静岡県労福協

検索



詳しくは、
直接問い合わせて
みてね!

静岡県労働者福祉協議会基本理念

労働者福祉運動とは「労働者の福祉要求の実現をつうじて、
労働者家族の生活向上と安定をはかり、
真に平和で豊かなくらしを保障する社会を創る」ことを基本理念とした。
この福祉運動は、労働運動の一環としておこなわれる、
労働者の自発的、自主的な要求、活動を指しており、
それはつねに労働者の団結した力を主体として
すすめられていくものである。

労福協のシンボルマークについて



1981(昭和56)年に労福協運動のイメージをシンボル化して定着させるため全国からマークを公募し、デザイナーとの検討の結果、同年7月に上記シンボルマークを決定しました。このマークは「人」という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすさが重視され、中の輪は人と人の「和」を表しています。



一般社団法人 静岡県労働者福祉協議会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 E-mail:info@shizuoka-rofukukyo.jp

☎054-221-6241 ☎054-273-3110

ホームページ

静岡県労福協

検索

<https://shizuoka-rofukukyo.jp>

